

◆団体基本情報

No.	8	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市救急医療事業団				
所在地		〒984-0806 仙台市若林区舟丁64-12							
電話番号		022-224-3761		FAX番号		022-264-4554		所管 部局	健康福祉局 医療政策課
団体ホームページ		https://www.sendai-emsf.jp							
代表者職氏名		理事長 筆田 廣登			設立年月日		昭和55年2月12日		
基本財産等			10,000 千円		市の出捐額（割合）		10,000 千円 （ 100.0 %）		
設立 目的	仙台市における急病患者の迅速な受療を援助するため、初期救急医療を提供し、地域住民の医療水準の向上と健康の保持増進を目指すとともに、救急医療知識の普及、啓発を図ることを目的とする。								
事業 概要	仙台市急患センター、仙台市北部急患診療所及び仙台市夜間休日こども急病診療所の管理運営 医療知識の普及啓発 （公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律別表（第2条関係）第6号の公益目的事業に該当）								
評価対象決算期		令和7年4月1日～令和8年3月31日							

◆人員等の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	70.0 歳	71.5 歳	72.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	1,408 千円	3,102 千円	3,364 千円
④職員数	10 人	12 人	13 人
うち市派遣	0 人	0 人	1 人
市退職者	3 人	4 人	3 人
⑤職員平均年齢	57.4 歳	52.3 歳	55.4 歳
⑥職員平均年間給与	4,570 千円	3,769 千円	4,266 千円

◆主要財務データ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①当期経常増減額	1,844 千円	6,470 千円	367 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	1,844 千円	6,470 千円	367 千円
④一般正味財産期末残高	8,211 千円	14,682 千円	15,049 千円
⑤指定正味財産期末残高	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
⑥正味財産期末残高	18,211 千円	24,682 千円	25,049 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①市からの補助金	0 千円	0 千円	0 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	306,192 千円	451,116 千円	496,926 千円
③市に対する収入依存度	28.67 %	42.09 %	45.70 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
休日夜間診療所管理運営事業	仙台市急患センター，仙台市北部急患診療所及び仙台市夜間休日こども急病診療所の管理運営事業	1,069,983 千円
医療知識の普及啓発	市民医学講座	338 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	指定管理者として急患センター，北部急患診療所及び夜間休日こども急病診療所の管理運営を適切に行い，仙台市民の健康増進と福祉の向上を図るための初期救急医療の提供を行ってきた。	診療所が休診となる休日や夜間において，本市の急患センター・北部急患診療所・夜間休日こども急病診療所の指定管理者として，1年を通じて，初期救急医療を提供した。また，年末年始対策を市と連携して実施し，大きな混雑を生じさせなかったことは評価できる。
2. 業務・組織管理	医療提供体制の確保にあたっては，人員確保が重要であることから，医師については各医会，大学（医学部）や医療機関等と，医療技術職については，仙台市薬剤師会，急患センター放射線技師部会及び仙台市夜間休日診療所臨床検査技師会と連絡調整を図ってきた。また，看護師をはじめとする医療従事者の質の向上に向けて，必要な教育・指導を行うとともに，適時適切な情報の提供を行った。	全国的に医師・看護師等が不足し，休日・夜間に勤務可能な医師等の確保が困難な状況下で，関係団体への協力依頼を行いながら医師等を確保したことは評価できる。引き続き，医療従事者の質の向上に向けた教育・指導に取り組まれない。
3. 財務状況	令和7年度の3診療所の患者数合計は年間47,583人となり，前年度より2,700人減少した。その結果，休日夜間診療所運営事業収入が減少したことから，収入に占める仙台市からの指定管理料の割合が増加した。支出については，冷暖房の効率的な利用に努めるなど，コストを削減した。	休日夜間の初期救急医療を担う事業特性と経費の大部分を人件費が占める支出構成から，大幅な経費削減は難しいが，引き続き冷暖房や照明機器の効率的な利用等によりコスト削減に取り組まれない。
4. 今後の方向性及び課題	仙台市の初期救急医療の役割を果たすため，適切な医療サービスの提供や事業団経営の改善，職員の資質向上，医療スタッフの連携強化などに取り組んでいく。今後の課題としては，人材の確保や医薬品の適正な在庫の確保などがあるが，市当局との緊密な連携と情報共有を図りながら，これらの課題の解決に努めていく。	今後も関係団体・医療機関などと連携しながら，診療体制の確保に努めるとともに，人材の確保や医薬品の適正な在庫管理等に取り組まれない。また，年末年始等の大型連休時や感染症流行時の対応については，本市との緊密な連携を図りながら，効率的な診療に向けた取り組みを推進されたい。